

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年2月4日

【2019年1月26日～2019年2月1日までの推移】

### 【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。米国の利上げ期待後退によって新興国全般が買われたことで、ブラジル・レアルも上昇、金利低下となりました。

週初のブラジル・レアルは、ヴァーレ社の鉱山ダム決壊を受けたリスクセンチメントの悪化を背景に小幅にブラジル・レアル安が進行しましたが、週後半にFRB(米国連邦準備制度理事会)がFOMC(米国連邦公開市場委員会)にてハト派な姿勢を示したことで一転、ブラジル・レアルは大幅高となりました。

また、2月1日(現地)よりブラジル連邦議会が再開され、下院・上院議長選が行われました。下院議長選では事前の予想通りロドリゴ・マイア氏が再選を果たしました。一方、混戦が予想されていた上院議長選では最有力候補とみられていたレナン・カリエロス氏をダビ・アルコルンブリ氏が破り、新議長に就任しました。レナン氏の汚職イメージを嫌う声の高まりが、アルコルンブリ氏勝利につながったと考えられます。

経済指標に関しては、1月の製造業PMI(購買担当者指数)や12月の鉱工業生産が発表されました。1月の製造業PMIは前月から小幅に上昇しました。また、12月の鉱工業生産は前年比で下落しましたが、前月比では上昇し、前年・前月比ともに市場予想を上回る内容となりました。

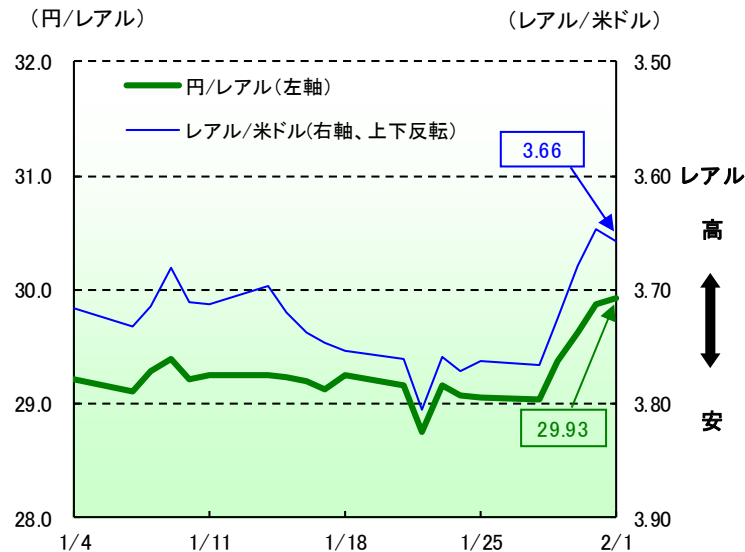
### 【2】今週の見通し

今週は、IPCAインフレ率やサービス業PMIなどの経済指標の発表が予定されています。また、ブラジル中央銀行からは政策金利の発表が予定されていますが、市場では据え置きが予想されています。

選出された両議長はともに中道の民主党出身であり、社会保障改革へも前向きな姿勢を示していることから、年金改革法案の議会通過のために中道勢力からの協力を得たいボルソナロ大統領にとっては追い風になると考えられます。また、ボルソナロ大統領も自身のツイッターに「行動に移す時が来た」と投稿しており、今後の展開にますます注目が集まりそうです。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

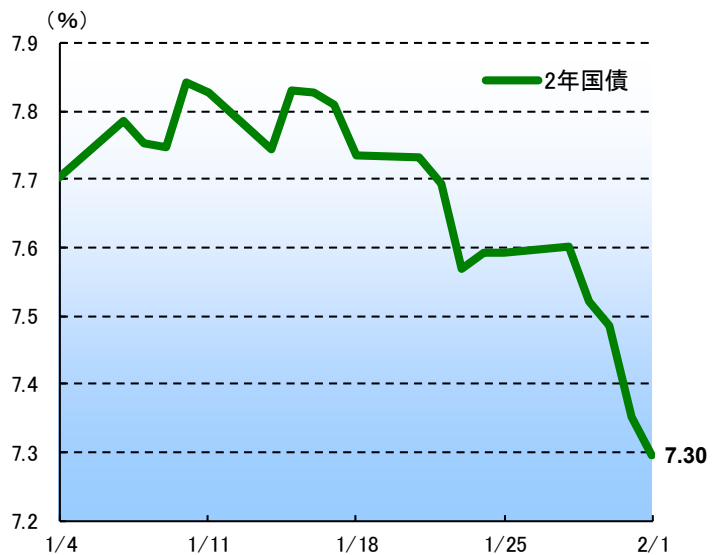
(2019年1月4日～2019年2月1日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2019年1月4日～2019年2月1日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>